

議会だより

<https://www.town.kawamata.lg.jp/site/gikai/>



歴史のお宝、ロマンがゾクゾク! 前田遺跡



最終紙面をご覧ください

12月議会報告

(一般会計補正・議決事項)	2~5
意見書・決議文	6~7
全員協議会レポート	8~9
一般質問	10~19
町民の声	20

令和3年 **2**月1日 発行

8億9923万5千円を増額

一般会計総額は126億7025万円

令和2年第8回議会定例会は、12月3日から9日までの7日間の会期で開催されました。

町当局から、条例改正など全10件の議案が提出され、審議の結果全て可決されました。

また、議員発議により、「議会改革等に関する調査特別委員会設置に関する決議」が提案され、令和4年6月までを調査期間とする特別委員会が設置されました。



12月議会で決まった主な事業

新川俣小学校改修工事

新川俣小学校に改修するための工事費等



改修後、令和4年に開校予定です

6億1146万円

川俣中学校トイレ改修

トイレに換気扇、自動洗浄便器を設置するための工事費等



川俣中学校

1468万円



12月議会 定例会

“学校改修”など

新型コロナ検査機器導入

済生会川俣病院にPCR検査と同程度の精度の検査機器を導入するための補助金



簡易検査キットが導入されます

442万円

子育て世代のオンライン相談

オンラインで個別相談を受け付けるための環境整備



携帯アプリで相談が可能に

43万円

飯坂小学校入口の災害復旧

飯坂小学校への進入路町道（橋梁部）の災害復旧工事

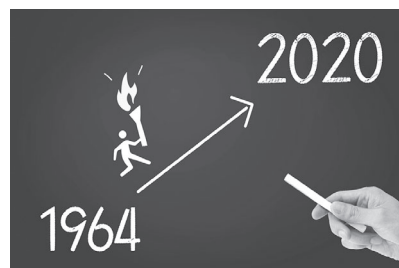


河川改修後、年度末に工事着工へ

7884万円

聖火リレー・オリパラ行事運営委託

令和3年3月26日に改めて聖火リレーイベントを行うための経費



オリンピック開催に向けて動き出します

366万円



主な議案と

質疑応答

予算の補正

●議案第96号

令和2年度一般会計補正予算

質問

① 地方バス路線の補助金だが、乗車人数はどれくらい減ったのか。
② 有害鳥獣対策費の報償費の増額分だが、現在の捕獲頭数は。

質問

① 商工費で新型コロナウイルス対策の補助金が約4900万円減額になっているが、さらなる支援に回せないのか。
② ワクチン接種のクーポン券の詳細を。

答

① 信用保証料の交付実績と今後の見込み分を予算化し、不用額を減額するものです。
(産業課長)
② 国で全国民2回分のワクチン接種を予定し、事前に町分のクーポン券を準備します。
(保健福祉課長)

答

① 補正後の残高は約11億8000万円です。
(企画財政課長)

② 検査機器、スキャナー、プリンター、試薬のセツトで442万円です。
(保健福祉課長)

③ 残り120歳で、令和3年度内の完成予定です。
(産業課長)

質問

① 町内飲食店のコロナ対策をするために経費を使えないのか。また、町から店舗に働き掛けはないのか。
② 飯坂小学校の橋梁はいつ完成するのか。

答

① 対策店舗にステッカーを貼りだす県の施策を活用するよう周知します。
(産業課長)
② 現在測量中で、年度内に工事発注し、来年度に完成する予定です。
(建設水道課長)

質問

就労対策費として正規雇用者に出す奨励金は、パートには出せないのか。
(山家恵子議員)

答

定住奨励金の見直しの中で検討します。
(産業課長)

質問

中山間地域等直接支払の減額は、何団体減ったのか。対応は。

答

25集落から18集落に減ったためで、相談に応じていきます。
(産業課長)

質問

消防屯所の井戸掘削経費の160万円の根拠は。他施策の単価と比べて3分の1だが掘れるのか。
(菅野清一議員)

答

9月補正で計上した掘削経費で水源に達しなかったために予算を補正するものです。
(総務課長)

条例の改正ほか

●議案第94号

川俣町立小学校及び中学校条例の一部改正

【概要】小学校の統廃合のため、令和4年3月末で、川俣南小学校、富田小学校、福田小学校、飯坂小学校を廃止するもの。

質問

令和4年に廃止する改正をなぜ、今行つのか。
(佐藤喜三郎議員)

答

小学校の改修に国庫補助を受けるにあたって、条例改正が必要であるためです。
(教育次長)

●議案第100号

動産の取得

【概要】小学校通学用スクールバス6台を購入するもの。

人事案件

●議案第99号

農業委員会委員の任命

【概要】委員の任命について議会の同意を求めるもの。任期は令和3年2月19日から3年間です。

・佐藤 朋子
(小島字横道)

・佐藤 吉彦
(飯坂字南古堂道内)

・菅野 儀政
(羽田字畝歩内)

・伊藤 正清
(鶴沢字宮ノ脇)

・佐藤 眞一
(小綱木字仲堰)

・廣野 忠次
(山木屋字吉口山)

・安田 泰良
(大綱木字御前作)

・菅野 利治
(西福沢字松ヶ作)



12月議会定例会審議結果 (令和2年12月3日～9日)

議案	件名	審議結果
第90号	川俣町税特別措置条例の一部を改正する条例	可決(全会一致)
第91号	川俣町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	可決(全会一致)
第92号	川俣町都市公園条例の一部を改正する条例	可決(全会一致)
第93号	川俣町町営住宅管理条例の一部を改正する条例	可決(全会一致)
第94号	川俣町立小学校及び中学校条例の一部を改正する条例	可決(全会一致)
第95号	町道路線の認定及び変更について	可決(全会一致)
第96号	令和2年度川俣町一般会計補正予算(第8号)	可決(全会一致)
第97号	令和2年度川俣町介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決(全会一致)
第98号	令和2年度川俣町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
第99号	農業委員会委員の任命について	同意(全会一致)
第100号	動産の取得について	可決(全会一致)

● 12月定例会請願審査結果 ●

受理番号	付託委員会	件名	請願者住所及び氏名	紹介議員氏名	審査結果
2	総務産業 常任委員会	町道長大田・ブシ沢線改良に係る請願書	川俣町大字羽田字姥作6 福田公民館内 駒ザクラ愛護会 会長 佐藤 善吉 ほか9名	佐藤喜三郎 蓮沼 洋志 作田 善輝	採択

令和2年 第7回議会臨時会

—専決処分議案(戸別受信機購入)・補正予算等を可決—

令和2年
11月25日
開催

決定した主な内容

- 防災行政無線・戸別受信機350台購入(専決処分)
- 町長ほか特別職、職員、議会議員の期末手当条例の改正(減額改定)
- 一般会計補正予算を5219万5千円増額
(補正後の額117億7101万5千円)

緊急であるとして町が専決処分(※議会の議決を経ずに執行)した動産の取得議案のほか、12月1日を基準として支払われる期末手当の額を改める条例改正議案、補正予算議案が提出され、全会一致で可決しました。

議員提案

12月議会定例会における議員提案は4件で、意見書は関係機関に送付しました。

原発事故被害者訴訟の公正な判決を求める決議

2011年3月11日に発生した東京電力福島第一原発事故は未曾有の被害をもたらした。川俣町山木屋地区は強制避難区域となり、住民は避難を余儀なくされたばかりか、2017年3月31日に避難指示が解除されたにもかかわらず、住民のふるさと帰還は進まず、深刻な被害が今なお続いている。

被害住民らは、東京電力の加害責任を明らかにし、被害回復を求めるために、原発事故被害者訴訟の原告となった。

また、避難区域以外の町民も原発事故による生業の被害が発生したため、国・東京電力の加害責任を明らかにし、被害回復を求めるために、原発事故被害者訴訟の原告となった。

福島地方裁判所の訴訟（生業訴訟）の判決は2017年10月に言い渡され、原告及び被告らは判決

を不服として控訴し、2020年9月には仙台高裁判決が言い渡されたが、これも判決を不服として最高裁判所へ上告している。

福島地方裁判所いわき支部の訴訟（避難者訴訟）の判決は2018年3月に言い渡され、原告及び被告らは判決を不服として控訴し、2020年3月には仙台高裁判決が言い渡されたが、これも判決を不服として最高裁判所へ上告している。

よって最高裁判所におかれては、三権分立の原則に立って国民の負託に応え、歴史の審判に耐え得る公正な判決を下されるよう強く求めるものである。

以上、決議する。

令和2年12月9日

福島県伊達郡川俣町議会

原賠時効特例法の消滅時効終期の再延長を求める意見書

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う東京電力福島第一原子力発電所爆発事故被害から約9年9ヵ月が経過した。復興は少しずつ進みつつあるが、いまだ元の生活に戻ることができない多くの被災者・被害者がいる。時の経過によって被災地の苦悩への関心が薄れつつある中、被災者に寄り添った復興を早期に実現しなければならない。

こうした中、原発事故被害者に対する損害賠償について二つの問題が発生している。一つは、東京電力ホールディングス株式会社（以下、「東京電力」という。）に対する原子力損害の賠償請求について円滑、迅速、かつ公正に紛争を解決することを目的として設置された原子力損害賠償紛争解決センター（ADR）が提示した和解案の受諾を東京電力が拒否し、次々と和解仲介手続が打ち切りになる事態が生じていることである。

もう一つは、時効再延長の要否についての調査の必要が生じていることである。原子力損害賠償については「東日本大震災における原子力発電所の事故により生じた原子力損害に係る早期かつ確実な賠償を実現するための措置及び当該原子力損害に係る賠償請求権の消滅時効等の特例に関する法律」が、第185回国会において成立し、2013年12月11日に公布・施行されている。

この時効延長措置によっても、本件原発事故直後に発生した損害の賠償請求権については2021年3月以降、時効を迎えることになる。

いわゆる住居確保損害について、東京電力が賠償を行うことを表明した時期が2014年4月であったこともあり、当該損害賠償の消滅時効の起算点については被害者にとって極めて不明瞭なものとなっている。さらに、高齢者が原発事故による避難によって適切な医療を受けることができず、災害関連死については東京電力に対する賠償請求権行使の可否の判断が難しく、賠償請求権の行使に困難が生じている可能性がある。

よって、このような状況を鑑み、本町議会は国に対し、原発事故による損害を受けた被害者の賠償請求権行使の実態について十分な調査を実施し、消滅時効終期の再延長を強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年12月9日

内閣総理大臣 菅 義偉 様
文部科学大臣 萩生田光一 様
経済産業大臣 梶山 弘志 様

福島県伊達郡川俣町議会

原子力損害賠償紛争審査会による中間指針の見直しを求める意見書

東日本大震災の発生から10年が経過しようとしているが、今なお、当町住民は放射能被害によって苦しめられている。

特に、当町小綱木地区住民は放射能被害によって被った精神的損害の賠償を求め、ADRセンターに集団申し立てを行い、和解仲介案が示されたが、東京電力ホールディングス株式会社（以下、「東京電力」という。）はこれを頑なに拒否し続け、手続きは打ち切られた。避難指示区域に隣接する地区の9割を超える177世帯566人の住民が時間をかけて被害の実態を訴え、迅速かつ適正な救済を図るため設置されたADRセンターが「中間指針追補に考慮されていない事情」があると認め和解仲介案を示し、また、東京電力は自ら立てた三つの誓いにおいて「センターの和解仲介案の尊重」を繰り返し誓約しているにもかかわらずこの始末である。

東京電力が拒否の根拠としているのが、原子力損害賠償紛争審査会による基準「中間指針」である。東京電力は、中間指針に対する独自の解釈を基に、何ら合理性のない理由を連ねて強固に拒否している。

東京電力は、事故原因者であることに加えて、不合理な理由で和解案を拒否し続けることにより、被害住民に対して耐えがたき苦痛を重ねて与えているのである。この状況について、福島県内33市町村の首長は、毎日新聞によるアンケートに対して、8

割超の28人が「中間指針の見直しが必要」と回答している。

さらには、仙台高裁により出された二審判決では、国の責任を認めるとともに、賠償についても中間指針を超える範囲と金額が認定された。このことは、長く苦しむ被害住民に一縷の希望を与えた大きな前進である。

よって、これらの経緯を踏まえ、中間指針の見直しを強く要請する。

1 住民が被った精神的苦痛のうち、コミュニティの崩壊、並びに従来の平穏な生活環境及び自然環境の喪失等によるものを賠償すべき損害として中間指針に明示すること

2 避難指示等による区域は、賠償における絶対の基準ではなく、区域の内外にかかわらず同等の賠償をするべき旨を中間指針に明示すること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年12月9日

内閣総理大臣 菅 義偉 様

文部科学大臣 萩生田光一 様

経済産業大臣 梶山 弘志 様

福島県伊達郡川俣町議会

議会改革

議会改革調査特別委員会を設置

議員発議により、特別委員会が設置されました。

- 目的 効果的、効率的な議会活動に関する調査
- 構成 議会運営委員、副議長、総務産業・厚生文教の両常任委員会から各1人の計7名
- 設置期間 可決の日（令和2年12月9日）から令和4年6月議会定例会まで

※調査活動等については、議会だより誌面に掲載してお知らせしていきます。

委員名簿

議 員	役 職 等
村 上 源 吉	委 員 長
新 関 善 三	副 委 員 長
菅 野 清 一	議 会 運 営 委 員
高 橋 真一郎	議 会 運 営 委 員
高 橋 清 美	議 会 運 営 委 員
菅 野 信 一	総務産業常任委員
作 田 善 輝	厚生文教常任委員

全員協議会レポート

第28回

(12月24日)
ほか

町も本格的な「ウィズコロナ」に 12月～1月に感染者が急増

年末年始にかけて「第3波」とみられる新型コロナ感染症が拡大する中、12月以降、町内からも陽性者が確認されるようになりました。町では様々な感染症対策を講じながらイベント等を再開してきましたが、再び、やむなく、中止や延期せざるを得ない事態となりました。

議会では、当局から報告を受け、急ぎよ、全員協議会を開催するなどして協議してきました。

国内・県内の動向と町の取り組み

	国内・県内のうごき	町の取り組み ※感染者の日付は発表の日
12月	11.30 11月中旬ごろから全国で感染が拡大 国内感染者累計148,975人、県内501人 12. 4 福島市内スナックでクラスター発生	12月議会でコロナ対策補正予算
	12.15 国がGoToトラベルの全国一時停止 (国内感染者累計184,703人、県内637人) 中 旬 福島市内病院でクラスター発生	12.11 町内1例目の感染者 緊急の全員協議会開催 12.13 町内2例目の感染者
	12.20 福島県内1日当たりの感染者が最多の 40人 (国内感染者累計199,220人、県内737人) 福島市で「新型コロナウイルス緊急警 報」 下 旬 福島市内複数箇所でクラスター 12.31 国内感染者累計235,742人、県内944人	12.21 町内3例目、4例目の感染者 12.24 緊急の全員協議会開催 下 旬 感染症対策本部からのお知らせ No.15発行
	1. 7 東京都で1日当たりの感染者が2,000 人を超す 1. 8 国が東京都、神奈川県、千葉県、埼玉 県に緊急事態宣言を発出 1.13 国が大阪府、京都府、兵庫県、岐阜県、 愛知県、福岡県、栃木県に緊急事態宣 言を発出 1.15 国内感染者累計317,764人、県内1,373人	1. 6 町内病院病棟内から、町内5例 目の感染者 1. 7 町内病院入院患者から、町内6、 7、8例目の感染者 1. 8 緊急の全員協議会開催 1.10 町内9、10例目の感染者 1.11 町内11、12例目の感染者 1.12 町内13例目の感染者

※国内累計の感染者数は、クルーズ船事例を除く。(NHK特設サイトから引用)。

中止・延期になったイベント等

- 年末イベント（古関裕而関連ほか）【延期】
- 令和3年成人式【延期】
- 新春交歓会【中止】
- 消防団出初式【中止】
- ほか忘年会、新年会行事【自粛】

福島第一原発・中間貯蔵施設を視察



廃炉作業について直接説明を受けました



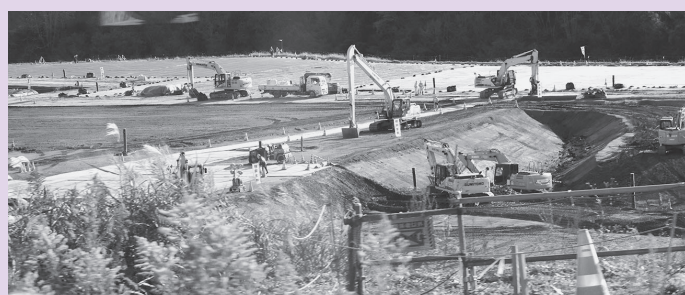
飛散防止カバーを掛け替え中の1号機

11月4日、全議員で視察しました。原発事故被災町の議会として、毎年現地視察を行っており、令和2年で4回目、改選後の議員は初めての視察でした。

廃炉資料館で東京電力が引き起こした事故とその反省、廃炉までの工程についての資料映像等を見た後、発電所に向かいました。

発電所では、放射線対策が進み、ほとんどのエリアを私服で視察することができました。昨年は120マイクロシーベルトであった見晴らし台も80マイクロシーベルトまで低減していました。9月時点の作業員は3770人だということで、廃炉に向け、日々前進していることが感じられました。

その後、中間貯蔵の現状について、「中間貯蔵工事情報センター」で学び、敷地内をバスで見学しました。次々と大型ダンプカーで搬送されており、2021年度までの完了に向け作業が進められています。



広大な敷地に次々と埋め立てられ、貯蔵されています

総務産業 / 厚生文教

常任委員会

常任委員会

活動報告

12月8日、定例会会期中の常任委員会で所管事務調査を実施しました。

総務産業常任委員会では、請願調査のため、駒ザクラに接続する町道の現況調査を、請願者立ち会いのもと行いました。

厚生文教常任委員会では、山木屋地区に開所した、障がい者が共同生活をするための施設「グループホーム山桜」を視察しました。



総務産業常任委員会



厚生文教常任委員会

まちの課題を問う

12月議会定例会の一般質問には9人の議員が登壇しました。



菅野 信一 議員

11

- 佐藤町政4年の総括について
- 川俣町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン、総合戦略について
- NHK朝のテレビ小説「エール」放送終了後の取り組みについて



石河 ルイ 議員

13

- 東日本台風からの復旧と河川洪水対策について
- 原発事故被災者支援について
- 復旧・復興と人口減少に苦しむ産業への支援策は
- ジェンダー平等の取り組みについて



新関 善三 議員

15

- コロナ感染防止対策について
- 小学校再配置に伴う周辺環境の改善について



高橋 清美 議員

17

- 選挙公約7つの実績は
- 有害鳥獣被害の状況と今後の対応・対策は



蓮沼 洋志 議員

19

- 新型コロナウイルス感染症について
- 県内児童虐待の増加について
- 町の「ひきこもり」の状況は
- 川俣中学校のトイレ改修について



山家 恵子 議員

12

- 震災から10年目へ、今後の町づくりについて
- 窓口サービスの充実と終活支援について



作田 善輝 議員

14

- 公共施設等の整備について
- 広域連携による防災の取り組みについて
- 川俣町の観光事業の取り組みについて
- 少子化・人口減少の課題に対する取り組みについて



菅野 清一 議員

16

- 原発事故から10年目を前に新たな復興政策は
- 風力発電事業に対する町の具体的方針は



村上 源吉 議員

18

- 2期目を表明した町長に問う
- 前田遺跡の取り組みについて問う
- 脱炭素社会への取り組みについて問う
- ナラ枯れの影響について問う

質問席

一

般

質

問



かん の しん いち

菅野信一 議員



2期目への立候補を表明した佐藤町長

佐藤町政4年の総括は

道半ばであり、取り組みを継続します

※17ページも併せてご覧ください。

質問

①公約の成果は。特に、福祉施策と健康長寿施策の充実においては、今後、高齢者の生きがいづくりが大切と考えるが。

②反省点は何か。

③どんな川俣町にしたいのか。

町長

①七つの公約に基づき、復興や人材育成などを進めてきたほか、コロナ対策などに努めてまいりました。福祉施策等においては、高齢者を地域で支えあう地域づくりを専門家の指導のもとで行ってきました。また、サロン活動などを通じて介護予防の推進や、閉じこもり防止、居場所づくりなどを行ってきました。生きがいづくりについては、福沢の美術館の取り組みなどを先例としながら、さらに進めていきます。

②人口減少対策のための目標を達成できなかった点、また、復興施策により帰還者を増やすことが果たせなかった点が大きな反省点です。

③ふるさとへの自信や誇りを大

切にし、避難や進学などで町を離れることがあっても、つながりを持ち続けることができる、そのような町にしたいと考えています。

町の人口ビジョンと総合戦略の成果は

評価指標を見直します

質問

①次期総合戦略策定の進捗及び川俣町地域創生推進会議の検証、評価は。

②最終的な、基本目標に掲げるKPI（重要業績評価指標）の達成状況は。

町長

①評価・検証する会議の委員からは、人口減少対策のための各施策の効果について効果があつたのかどうかの観点で評価すべきであること、また、適切な評価指標の設定をすべき、という意見をいただいています。

②数値目標にしていた「合計特殊出生率1・50」ですが、県で新たな数値を公表しておらず、評価できませんでした。こうした指標の設定については、反省し、今後に生かしていきます。

朝ドラ「エール」後の展開は

観光資源を活用して進めます

質問

①今後の取り組みは。
②新たな展開を考えているのか。

町長

①シルクピアでの展示物ほか、概ね年内で終了します。

②エールとその関連イベントを通じて本町の認知度が高まったと感じていますので、今後さまざまな観光資源を活用しながら事業を展開します。



シルクピアの展示スペース



3月11日に宇宙に打ち上げられる横断幕

質問
①震災の記憶と教訓を、未来を担う子どもたちに伝えるための取り組みは。
②「東北復興宇宙ミッション」で宇宙へ打ち上げた記念品の活用は。

震災から10年、今後のまちづくりは 教訓と感謝を伝え、今後に生かします



やま が けい こ

山家恵子 議員

③震災から10年の節目に、支えていただいた方々へ感謝の思いを伝えるイベントとして「天女サミット」を開催してはどうか。
④放射線に関する学習や防災に関する教育を継続しています。3月11日には、追悼集会や校長による講話、外部講師による体験談などを各学校で行っています。震災の教訓を子どもたちが「自分ごと」として学ぶことができるよう、努めていきます。
⑤ミッションでは、同じく打ち上げられ帰還した桜の種を「きぼうの桜」として育てており、中央公園に植えられていますので、各学校などでの活用を図っていきます。

教育長

①放射線に関する学習や防災に関する教育を継続しています。3月11日には、追悼集会や校長による講話、外部講師による体験談などを各学校で行っています。震災の教訓を子どもたちが「自分ごと」として学ぶことができるよう、努めていきます。

町長

②来年5月に、山木屋在来そばの種が宇宙に打ち上げられ、7月ごろ町に戻ってきます。震災により一時は保存が危ぶまれた種を、住民が農業総合センターの助力により大切に育ててきたもので、「幻のそば」とも言われています。町の新たな観光資源として活用できればと考えております。

窓口サービスの 充実・終活支援を 職員が丁寧に対応します

職員が丁寧に対応します

質問

①住民の死亡、相続などの届出をワンストップで受け付ける「おくやみコーナー」を設置してはどうか。

②「おくやみコーナー」設置自治体支援ナビ」を活用しては。ために、タッチパネルで手続きできる「書かないコーナー」を導入してはどうか。

④一人暮らしなど、不安を抱える方々が終活について相談できる終活支援事業を実施してはどうか。

③これまで支えていただいた皆様に、感謝の気持ちを伝えるための機会を設けることは必要だと考えていますので、趣旨や内容を踏まえて、既存のイベントの活用も含めて検討していきます。

町長

①②③死亡等の手続きは1階の窓口で、職員が連携して案内していること、ひと月あたりの死亡者数は20人程度であることから「おくやみコーナー」の必要性は低いと考えます。タッチパネル端末は経費が課題になります。

④適宜、相談に応じていくこととします。

私から大切な人へ

*該当する口の欄に「○」を付けましょう
*希望する内容が変わったら書き直しましょう

1 介護・看料についての私の希望

■介護について

①私が認知症や寝たきりになったときの介護は

記入日	年	月	日	記入時の年齢	歳
☐ 配偶者・息子・娘にしてほしい ☐ 介護保険など専門のサービスや介護を受け入れる ☐ その他					

記入日 年 月 日 記入時の年齢 歳

☐ 配偶者・息子・娘にほしい
☐ 介護保険など専門のサービスや介護を受け入れる
☐ その他

府中市が作成したエンディングノート

まちの課題を問う

台風被害復旧と 河川洪水対策は

要望し、進捗を図ります

質問

① 国道349号の防災対策と安全管理は。

② いまだ復旧されていない町道の扱いは。

③ 広瀬川の復旧の進捗状況は。

町長

① 鳴石トンネル内に土砂が流入することがないよう、県に安全管理を要望しています。

② 現在、測量設計中であり年度内の発注を予定しています。

③ おじまふるさと交流館から大橋までの200mの区間については工事発注済みで、大橋から岩阿久橋までの区間は用地買収の交渉中で、令和3年3月までに契約を完了する見込みです。



広瀬川岩阿久橋下流付近

復旧復興と人口減少に 苦しむ産業への支援策は

国県事業等を
活用していきます

質問

① 農業と商店の後継者に支援金の交付を。

② 水田の受託作業者に対する支援を。

町長

① 新規就農者や後継者には県の資金援助が設けら

原発事故被災者 支援は

粘り強く
要望していきます

質問

① 山林除染をしていないために取り戻せていない生業の復興と対策は。

② 町の損害賠償請求の取り組みは。中間指針の見直し、時効延長の措置について国に求めるべきと考えるが、町の考えは。

町長

① 山木屋地区の第2親子の森での実証事業により、里山再生事業が制度化されました。今後は、全ての里山を対象に拡大するよう粘り強く国に働きかけていきます。

ジェンダー平等の 取り組みを

学校での学習機会を
計画しています

質問

① 町職員の女性管理職の割合、男性職員の育児休業の取得率の現状は。

② 役場庁舎の湯沸室入口が、女性トイレの入り口と共用になっているので独立を。

③ 学校教育におけるジェンダーの現状は。

町長

① 課長職のうち女性はいません。課長補佐職では4名で全体の21%、係長職では6名で46%となっています。

② 間取りや動線の都合でこのように配置されたものと考えます。

教育長

③ 男女の平等や相互理解・協力の重要性について、発達段階に応じた学習が行われており、近畿大学との授業なども行われる予定です。

② 町の損害賠償請求額のうち東京電力からの収入額は約7億5千万円、全体の35・9%です。国に対し、今後も粘り強く要望していきます。



いし かわ

石河ルイ 議員

一般質問



さく た よし てる
作田善輝 議員

公共施設整備の計画は

4大事業で
33億円の見込みです

質問

①町火葬場、認定こども園などの公共施設整備のスケジュールは。着工時期は。
②財源の見込みは。

③事務組合による広域事業における施設整備計画は。

町長

①川俣小学校、町火葬場等の4施設の改修のスケジュールは、表のとおりです。
②4施設の工事費のみで総額約33億円の見込みです。
③伊達地方消防組合で、桑折町の分署の移転新築、伊達地方衛生処理組合でゴミ焼却施設の代替施設を新設整備する計画等があります。

広域の防災連携の実態は

東日本台風で
支援を受けました

質問

①防災協定等災害時の相互支援体制の実態は。
②その稼働の実績は。課題は。

町長

①①県北17市町村、②福島県北と宮城県南、山形県南の33市町村、③愛知県日進市、④栃木県野木町、⑤長野県木祖村、⑥栃木県真岡市、⑦神奈川県三木村、⑧東京都江東区と協定を結んでいます。
②昨年の東日本台風の際、③のほかに東京都中央区、茨城県境町の8団体から、38日間にわたって総数22人を派遣して支援していただきました。

観光資源に「横ぐし」を

連携を図って進めます

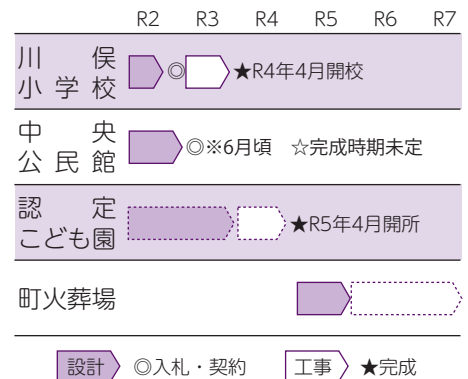
質問

①これまでの事業の評価と課題は。

②今後の事業展開は。観光資源や担当課が単独ではなく、連携し「横ぐし」を通すような取り組みは考えられないのか。
③前田遺跡の活用は。

町長

①各種イベントなどのほか、朝ドラ「エール」で本町の認知度は大いに高まったと感じています。課題は、宿泊所の不足です。



少子化、人口減少対策に打つ手は

新たな取り組みを
交えて進めます

質問

①人口減少対策の計画の評価と課題は。

②逐次的、形式的な事業展開のようだが、これで目標を達成できるのか。抜本的で大胆な事業展開をできないのか。

町長

①未達成だった目標もあり、新たな取り組みも交えながら次期計画を進めます。
②若手職員や商工会青年部などで新たなアイデア、取り組みの芽が育ち始めていますので、大切に、運命共同体としての関わり合いを深めてまいります。

②イベントをきっかけとして、ほかの観光資源を歩くなど、連携を深めていくことが重要と考えますので、関係機関等と連携し、協議しながら進めていきます。
③遺跡が発掘されたあとで、安定的にどれだけの人が来るかが課題ですので、情報収集に努めていきます。

まちの課題を問う



にい ぜき ぜん ぞう

新関善三 議員



2月下旬頃から計画されているワクチン接種（イメージ）

質問
①町内のPCR検査の実態は。だれでも受けられるのか。ワクチン接種の見通しは。

**コロナ対策による影響は
影響が少ないよう努めます**

町長
②GOTOキャンペーン、イトの実態は。PRすべきでないのか。

①町民と町内滞在中の方がPCR行政検査の対象となった場合には、県北保健福祉事務所から町に連絡があります。12月3日時点で59人が対象になりました。行政検査対象外の場合の自由診療でも検査を受けることができますが、個人負担となり、3万円前後かかると聞いています。
ワクチン接種については、町医師会、済生会川俣病院、伊達消防南分署と協議中で、優先的な投与対象者等については、国・県から指示なり通知があるものと考えています。
②町内でキャンペーンに登録し

ているのは、トラベル共通クーポンの利用可能なのが18店舗、イトが9店舗です。イト食事券は、福島信用金庫川俣支店と道の駅シルクピアで購入可能です。

**統合後の小学校
環境・運営は**

安全管理に努めます

質問
①川俣小学校通学路の改修改善は。

②自然災害防止対策は。

③スクールバスの運行、運営は。

町長

①再編後の川俣小学校への通学路は、主にスクールのバス乗降所となる予定の①町役場駐車場、②まちなか駐車場からのルートで、特に②のファズ北側から一方通行になる箇所の道路側溝等の修繕が必要と考えております。

②川俣小学校北側の七曲りの沢が危険箇所指定されており、小学校も土石流警戒区域の範囲内となっていることから、県で砂防工事を実施中で、令和2年度内完成予定となっています。
③川俣小学校再編準備協議会で



改修予定の川俣小学校（右奥）

協議し、通学距離2キロ以上を超える全10ルートをスクールバス12台で運行する予定です。運行は業務委託し、安全で効率的な運行に努めます。

運行ルートは次のとおりです。
①小島地区（下ノ町方面）、②小島地区（田代方面）、③飯坂地区、④小綱木方面、⑤大綱木方面、⑥福沢地区（板橋方面）、⑦福沢地区（阿弥陀茶屋方面）、⑧福田・鶴沢地区（遠西・シルクピア方面）、⑨福田・小神地区（町道小神・秋山線）、⑩福田地区（十二社経田・国道114号）



かの きよ かず

菅野 清一 議員

生活再建のための復興の姿は

計画を見直し取り組みます

質問

①新たな復興計画の内容と課題は何か。

大型公共事業中心の復興事業から生活再建につながるための施策を求めるべきでは。

②国に中間指針の見直しを求めるべきでは。

③原発事故賠償の期限が来年に迫るが対応策は。

④山木屋地区の復興牧場の今後の計画は。

町長

①令和2年7月に復興会議専門部会で、

今後の山木屋地区のあり方を協議しています。具体的には生業の継続発展への支援、医療、介護、見守りなどの環境整備、とんやの郷を拠点にした賑わいの創出などを考えています。



未だ0.64マイクロシーベルトの山木屋地区

②③現時点では、国は「直ちに見直しの必要はない」「延長法の改正は考えていない」としていますが、国や関係市町村と連携して粘り強く要望していきます。

風力発電事業の実態は

「エコ」ではないと考えます

質問

①風力発電が本当にエコだと思うのか。

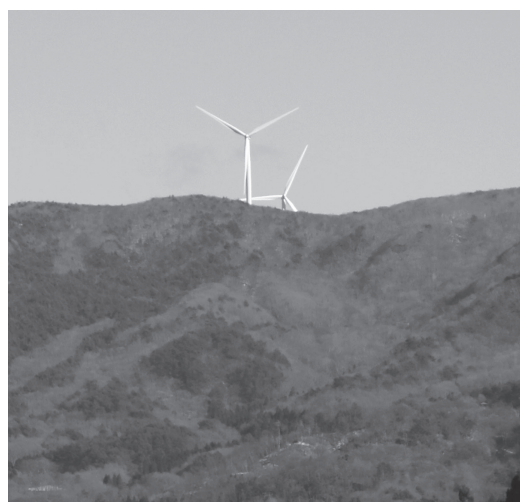
②大量の風力発電設置計画がある一方で原発の廃炉や火力発電の縮小計画がないのはなぜか。

町長

①「エコ」が「エコロジー」、環境保全や地球環境に負荷をかけない、また、

人間生活と自然との調和という意味どおりであると捉えるなら、風力発電は設置と稼働に少なからず影響を与える可能性があり、「エコ」ではないと考えます。

②国では、「エネルギー基本計画」を、県では



飯館村の風力発電（川俣町役場より）

④県酪農業協同組合が「乳牛1600頭規模の復興牧場を2020年度までに新設する」と報道がされましたが、その後の計画の提示はありません。

「再生可能エネルギー推進ビジョン」を定め、再生可能エネルギーの推進を図っており、そのひとつとして、風力発電が位置付けられています。

しかし、太陽光、風力などの再生可能エネルギーは安定して発電することが難しいため、火力や原子力も含め、電源構成比率の目標を定めた「エネルギーミックス」を推進する、とされているものと認識しています。

まちの課題を問う



たか はし きよ み

高橋清美 議員

町長公約	主な取り組み
子育て支援策の強化	子育て世代の経済的負担軽減策
医療、介護福祉施策の充実	地域包括ケア体制の確立
健康長寿対策の実施	サロン活動、介護予防体操の奨励等
未来を担う人づくり	英語体験学習プラン、海外派遣等
復興政策の拡充と強化	とんやの郷開所、ミツフジ(株)との連携事業
農商工業の維持振興対策	粗飼料施設等整備、資金繰り支援等
観光と交流人口増加への取り組み	道の駅のリニューアル

質問

町長は、平成29年2月に当選され、これまで3年10か月町政発展のため情熱を持って誠心誠意務められてきたと思っておりますが、この七つの公約がどれだけ達成できたか、

町長

その実績と自分なりの評価をどうされているのか伺います。
精いっぱいの施策を展開したつもりですが、必ずその思い通りの答えが出るとは限らない、という反省を感じて

選挙公約七つの実績は

精いっぱい努めてまいりました

鳥獣被害の状況と今後の対応対策は

地域の協力が不可欠です

質問

これまでイノシシ、サル等の被害が大変増えており、農家の方々、そして町民の方々の宅地等まで被害が拡大している。

①町全体の有害鳥獣被害の状況は。
②これから町としての対応、対策は。

町長

①農作物の被害状況は、平成29年が件数122件、被害額約1600万円、平成30年度が約164件、1300万円、令和元年度が66件、約950万円となっています。令和2年度は11月末時点で32件となっており、減少したのは、被害防止柵の設置が進んだためと考え

います。特に台風や新型コロナウイルスなどの影響もあり、難しいですが政策をリアルに変換しき取りを変える、ということにもチャレンジしなければならぬと感じました。

一方で、目標にしていた「関係・交流人口を増大させる」という点は、朝ドラの影響もあり、想像以上の効果があったと感じています。

ます。

一方で、農作物以外の、住宅地や農道などで被害が増加傾向にあり、山木屋、小綱木、飯坂、小島地区などでサルの被害が増えていきます。

②①正しい防護柵の設置、②工サを食べさせない対策、③加害個体を対象とした効果的な捕獲の三つの対策が大切ですので、地域住民皆様の協力を得ながら、効果的な対策を図っていきます。



イノシシを山に還す取り組みを



むら かみ げん きち

村上源吉 議員

2期目を表明した 町長に問う

地道な取り組みを
継続します

持することで効果が発揮できると考えています。
③空き店舗を活用した創業支援、サテライトオフィスの誘致など、ソフト事業の取り組みを検討していきます。

質問

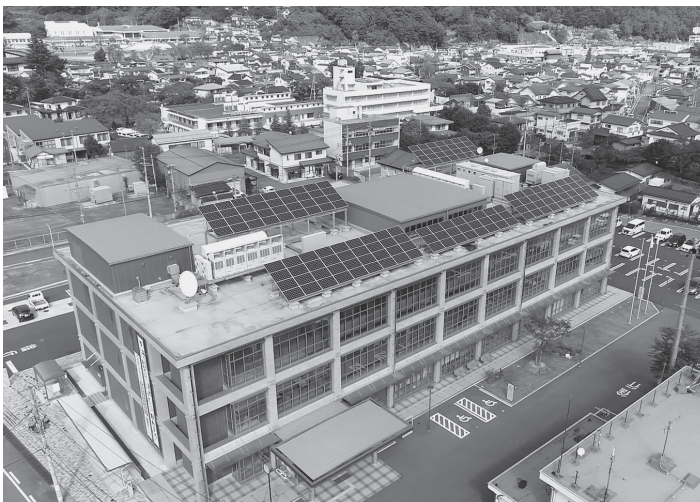
①長引くコロナに対する支援策を示せ。

②執務体制の改編をするのか。

③旧町内の空洞化をどう解消するのか。

町長

①事業所の経営安定、②雇用の安定、③消費拡大の三つの取り組みが重要ですので、資金繰り支援や情報発信などに努めていきます。
②残された課題を解決するためには、地道な取り組みが必要であり、今は改編するよりも維



川俣町役場庁舎

ナラ枯れに対策を

国県と連携して
復旧に努めます

質問

①ナラ枯れの対策をすべきと考えるが。

②鳥獣被害拡大防止対策を早急にとるべきと思うが。

町長

①ナラ枯れは、伐採しないために大径木化し、害

前田遺跡を活かす 取り組みは

町で発掘・保存を
検討中です

質問

①町の文化財、観光資源としての取り組みは。

②町の案内板を早期に整備すべきでは。

町長

①発掘調査ができるように体制整備し、出土品の保管ができないか検討しています。

②現時点では、遺跡の一部が発掘されたのみで、今後全容を把握したのちに検討します。

脱炭素社会の 取り組みは

計画に定めて
取り組んでいます

質問

①町の近隣で大型風力発電が計画されているが、

町長の考えは。

②家庭蓄電池設置補助金制度を設けては。

町長

①再生可能エネルギーの推進を町振興計画で定めており、風力発電もその一つであり、否定するものではありません。事業者が検討している風力発電計画は、町として推進する立場にはなく、地域への影響についてしっかり住民に説明したうえで、真摯に耳を傾けるよう要請しています。

②来年度からの実施に向けて検討しています。

虫が繁殖することが原因と言われています。県に、広域的な取り組みを要望していきます。
②ナラ枯れによるエサ不足もありますが、人里周辺にイノシシ等を寄せ付けないことが重要です。ので、防止柵の設置や効果的な捕獲等を継続していきます。

まちの課題を問う



はす めま ひろ し

蓮沼洋志 議員



適切で効果的な防災無線の運用を求めています

より細やかな新型コロナウイルスへの対応を

各担当で
努めてまいります

質問

- ① 防災無線を使って感染予防の放送をしないのか。
- ② 出歩くことのできない高齢者のインフルエンザ予防接種はどうしているのか。
- ③ 町の女性の生活、雇用への影響を把握しているのか。

町長

- ① 感染の拡大状況に応じて、頻度を検討しながら実施しています。
- ② 外出できない高齢者の方は、定期受診や往診の際に医師と相談しながら接種しています。
- ③ 町では把握できていません。ハローワーク福島公表から、県北地区の失業状況が把握できますが、9月末時点、前年比で400件増となっており、厳しい状況であることが分かります。

町内のひきこもり事業への対応は

関係機関連携して
対応します

質問

全国のひきこもりの状況では、男性が8割で61万人と発表されたが、町内の現状と対策は。

町長

町では統計を取っていません。令和元年3月に初めて国が抽出調査を行い、推計した値から、40歳以上64歳までで61万人と公表されました。

町では、民生委員の方が相談対応にあたっており「人間関係」「病気」などの理由が報告されています。支援の際は県が設置

町内の児童虐待の現況は

減少傾向です

質問

県内で児童虐待の事案が増加していると聞いていますが、町内における現況は。

する「ひきこもり支援センター」などと連携して対応にあたっています。

川中トイレの改修を

補正予算で対応します

質問

川俣中学校のトイレは、水の流れが悪かったり、出なかつたりして使用できない箇所がある。また、換気扇がない場所もある。改修しないのか。

教育長

12月補正予算に、換気扇と男子トイレの自動洗浄小便器を設置するための工事費を計上し、対応します。

教育長

町内関係者等をつくる「子ども家庭支援ネットワーク」で児童虐待等の把握に努めており、令和2年度の発生件数は13世帯で、平成30年度以降、減少傾向にあります。全国、県内では増加傾向にあり、原因は虐待に関する意識の高まりや、コロナ禍でストレスが増えたことなどが原因と考えられます。

町民の声

私のひと言



コロナに
負けないで！

飯坂
高橋 洋子さん

令和2年の今頃、1、2月はまだ、新型コロナウイルスは遠いところの話のように感じていました。マスクも必要なくて、体操をし、大声で話し、笑い、ハグをして楽しかった毎日でした。

その年は、オリンピック、コスキンパレード、いろいろなイベントがたくさん予定されていたので、楽しみにしながら練習を重ねていましたが、3月になると次々にイベントが中止になり、緊急事態宣言が出されて自粛生活になりました。

それでも、オンラインのコスキンや、内輪の発表会など、わずかですが、注意をしながら楽しむことができました。困難な時代ですが、毎日の生活を楽しむことは、いつでも大切なことだと思います。

これからも、マスクをして、換気をして、十分に気をつけながらですが、体操やダンス、山登り、ウォーキングなど、楽しみの機会を見つけていきたいです。そしていつか、中央公民館のステージで成果を発表できる日を願いながら、練習に励もうと思います。

世界中、どこにも逃げることができない今、
新型コロナウイルスが収まるまでの我慢です。
健康に気をつけて、負けないで吹き飛ばして、
笑いあっていきましょう！

総務産業

常任委員会

厚生文教

常任委員会

所管事務調查報告

前田遺跡を現地視察

(小綱木地区字前田)

12月8日、議員全員で現地視察しました。福島県文化財課の担当者にお出でいただき、直接説明を受けました。

前田遺跡では、次々に貴重な遺跡が発掘され、関係者を沸かせてきました。漆器や木製品など、縄文時代の品々が現代に姿を現し、昨年には縄文人の人骨まで発掘されました。当初から「国史級ではないか」と言われてきましたが、正に、歴史的な発見です。

国道改良のため当面の発掘は一旦終了になりますが、遺跡はまだまだあると見られ、町でも4月から「遺跡調査係」を設置することとなりました。議会で、繰り返し当局に前田遺跡の活用を訴えてきており、実現した形です。



未だ地中に眠る歴史ロマン、熱の込めった説明でした

編集後記

新年明けましておめでとう
ございます。新型コロナウイルスの感染が続く中での年明けとなりました。まずは、この困難な状況に身を置かれている医療・介護従事者や町民の生活に欠かせない業務に携わっているすべてのエッセンシャルワーカーの皆様に心から感謝を申し上げます。

本年は、東日本大震災が発生して10年目を迎えます。節目のこの1年！皆様に安心と希望の心を届けられるよう「1対1」の対話で、生活現場の生の声をキャッチし、実現に向けて一歩一歩着実に働いてまいります。

丑年は、「我慢(耐える)」「二れから発展する前触れ(芽が出る)」というような年になると言われています。コロナ禍の中でも、努力や工夫を重ね、感染防止に注意しながら共に励ましあつて、強く強く一緒に前に進み、皆様と一丸となつてこの危機を乗り越えてまいりましょう。本年も宜しくお願いいたします。

(山家恵子議員)

◆ 広報編集常任委員会

議	副	委	委	委
長	員	員	員	員
高	村	佐	作	山
橋	上	野	藤	田
道	源	清	喜	善
也	吉	一	郎	輝
			三	惠